

**1. 本授業科目の基本情報**

|           |               |             |
|-----------|---------------|-------------|
| 科目名 (コード) | WebデザインⅡ      | ( NGM11R )  |
| 講義名 (コード) | WebデザインⅡ      | ( NGM11RX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース | 単位数<br>1    |
| 授業担当者     | 小笠原 あやの       | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 小笠原 あやの       | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | はい            | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  | 空気猫デザイン研究所 代表 | 授業形態<br>講義  |

**2. 本授業科目の概要**

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | デザインの要素を整理し、わかりやすく相手に伝えるための基本的な手法を理解し、実践する。                           |
| 全体の内容と概要      | 普段目にする事の多いDTP、WEB広告などを制作しながら、「色」「フォント」「画像」などその要素の役割、効果的な表現を学び、実践していく。 |
| 授業時間外の学修      | なし  |
| 履修上の注意事項等     | なし  |

**3. 本授業科目の評価方法・基準**

|        |  |                               |   |
|--------|--|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 出席率70%以上で期末試験受験者を対象とし、授業内ワークへの参加態度並びに意欲も評価対象とする。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                                | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数  | 出席率×0.3<br>(小数点以下切り上げ)        | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価   | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S  | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A  | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B  | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C  | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D  | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能   | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                    |                          |
|---------------|------------------------------------|--------------------------|
| 回             | 到達目標                               | 授業内容                     |
| 1             | 身近にあるデザインを意識して探すことができる             | 街に出て写真を撮ろう（ロゴマークを探そう）    |
| 2             | 〃                                  | 街に出て写真を撮ろう 発表            |
| 3             | デザインの役割や意味を理解することができる              | 《グループワーク》問題解決のための広告作り    |
| 4             | 〃                                  | 《グループワーク》問題解決のための広告作り    |
| 5             | 〃                                  | 《グループワーク》問題解決のための広告作り、発表 |
| 6             | チーム内で意見を出し合いながら協力することができる          | 《グループワーク》NBL祭のポスター作り     |
| 7             | 〃                                  | 《グループワーク》NBL祭のポスター作り、発表  |
| 8             | 日本古来の風物詩に触れて、自由な塗り絵を楽しむことができる。     | 狐のお面に色をつけよう              |
| 9             | 素材を楽しく組み合わせ、気持ちを伝えるデザインを考えることができる。 | クリスマスカードづくり①             |
| 10            | 〃                                  | クリスマスカードづくり②             |
| 11            | デザインの「良い」「悪い」を意識し、改善策を考え、実践できる     | デザインのブラッシュアップ①           |
| 12            | 〃                                  | デザインのブラッシュアップ②           |
| 13            | 予測できないからこそ生まれるアートを体験できる            | 1本の線から生まれるアート体験          |
| 14            | テスト                                | ペーパーテスト（1年間のまとめ）         |
| 15            | フィードバック                            | テスト内容に関するフィードバック         |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                 |             |
|-----------|-----------------|-------------|
| 科目名 (コード) | Webリテラシー II     | ( NGM11T )  |
| 講義名 (コード) | Webリテラシー II     | ( NGM11TX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科     | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース   | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | デザインルームエム水寄     | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | デザインルームエム水寄     | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | はい              | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  | (有)デザインルームエム 所属 | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | WEBビジネスを行う上で使用するWEBツールを活用でき、用途ごとに適切な使い分けができる                                |
| 全体の内容と概要      | WEBビジネスにおいてよく使われるサービスや用語、各サービスの概略を知り、実際にプロジェクトを進めていく中で役割を認識しながら活用する方法を学びます。 |
| 授業時間外の学修      | 授業時間内で完了できない課題がある場合、授業時間外で作業を行っていただく場合があります。                                |
| 履修上の注意事項等     | なし  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                               |   |
|---------------|-------------------------------|---|
| 回             | 到達目標                          | 授業内容  |
| 1             | フォーム作成と個人情報の扱い方がわかる           | 前期の振り返りと後期目指していくことの確認を行う。また、オンラインフォームを使ってアンケートの作成と個人情報取り扱いについて学ぶ。       |
| 2             | プロジェクトを進めるうえで便利なツールの使い方がわかる   | 文化祭に向けて準備を行う。また、Notionを使用して企画実施に使用できる様々な使い方を確認する。                       |
| 3             | プロジェクト実施をするうえでのツールの役割がわかる     | チームごとに分かれて、文化祭の最終準備を行う。また、文化祭終了後に行うことを確認し、それを踏まえて実施できるよう予定を立てる。         |
| 4             | 複数のツールを使って成果物を作成する方法がわかる      | 文化祭企画の振り返りをチームごとに行う。Googleドキュメント・生成AI等を活用して報告書を作成し、次年度の新入生へのアドバイスを作成する。 |
| 5             | クラウドファンディングと向いている用途がわかる       | 資金調達・クラウドファンディングについて学び、概要を知る。また、気になるプロジェクトを見つけて、支援したいと思う心理について学ぶ。       |
| 6             | 同じことを繰り返す必要性和その効果がわかる         | 地域連携SNS事業の投稿取材計画を立てる。これまでの同アカウントを客観的に観察し、反応が良い投稿はどんな物があるかを考える。          |
| 7             | 一つの事業の改善方法とその管理方法がわかる         | 地域連携SNS事業の取材を行う。またその際、前期に行った取材の改善点を洗い出し、効率的に取材を行う方法を計画・実践する。            |
| 8             | PDCAの考え方と実践の方法がある             | 繰り返し実践の効果とPDCAの考え方・方法について学ぶ。また、取材した素材を使用して投稿を作成する。                      |
| 9             | アナリティクスの概要と使い方、見方がわかる         | SNSのアナリティクス機能の概要を知る。また、アナリティクスデータの基本的な用語や意味を確認し、分析の方法を学ぶ。               |
| 10            | アナリティクスデータを踏まえた投稿計画を立てる方法がわかる | SNSで分析を行った結果から、どういった投稿が好まれるかを分析しまとめ、発表する。また、それを踏まえて投稿・取材計画を作成する。        |
| 11            | 分析を踏まえた取材と投稿の方法がわかる           | 分析を踏まえた取材を行い、目的に沿った素材集めを実施する。また、目的を見据えた発信するにはどうするかを考えながら実践する。           |
| 12            | 口コミサイトの活用方法とマーケティングの効果がわかる    | 投稿作成口コミサイトのユーザー側の利便性と、提供者側の利便性を確認する。また、口コミをしたくなる仕組みを確認する。               |
| 13            | 無料HP作成サービスの概要がわかる             | 無料から使用できるHP作成サービスについて学ぶ。Wordpress等との違いと使い分け、目的別の構成などを確認し、実際にページの作成を行う。  |
| 14            | まとめ                           | スキル・知識と応用力を確認するテストを実施する。  |
| 15            | まとめ                           | 後期のまとめ  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|          |               |             |
|----------|---------------|-------------|
| 科目名(コード) | グラフィックデザイン基礎Ⅱ | (NGM11V)    |
| 講義名(コード) | グラフィックデザイン基礎Ⅱ | (NGM11VX)   |
| 対象学科     | グローバルビジネス学科   | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース    | WEBマーケティングコース | 単位数<br>1    |
| 授業担当者    | 小笠原 あやの       | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員   | 小笠原 あやの       | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員    | はい            | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄 | 空気猫デザイン研究所 代表 | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | Illustrator、Photoshopの基本的な操作を身につけ、WEBマーケティングに必要なクリエイティブな表現の幅を広げる。             |
| 全体の内容と概要      | ソフトに馴染み、自分の「こうしたい」表現のためのツールやコマンドを覚える。図形・色・線などの設定から、画像の加工・文字の編集、全体のレイアウトを体験する。 |
| 授業時間外の学修      | なし  |
| 履修上の注意事項等     | 最終的には誰かに「伝える」ためのデザインになるよう、ゆっくりステップアップしていく。                                    |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                  |                               |   |
|--------|------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                  |                               |   |
| 評価基準   | 知識(期末試験点)<br>60% | 自己管理能力(出席点)<br>30%            | 協調性・主体性・表現力(平常点)<br>10%                         |
| 評価方法   | 期末試験の点数          | 出席率×0.3<br>(小数点以下切り上げ)        | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価               | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能             | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                    |                                 |
|---------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 回             | 到達目標                               | 授業内容                            |
| 1             | 著作権の意味と内容、余白の大切さについて理解することができる     | 著作権について理解しよう・自分の手をデッサンする        |
| 2             | キャラクターの役割やマーケティングについても考えることができる。   | 身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう① 手書きラフから |
| 3             | 〃                                  | 身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう②         |
| 4             | 〃                                  | 身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう③ 発表      |
| 5             | チーム内で意見を出し合いながら協力することができる          | 《グループワーク》NBL祭のポスター作り①           |
| 6             | 〃                                  | 《グループワーク》NBL祭のポスター作り②           |
| 7             | 〃                                  | 《グループワーク》NBL祭のポスター作り③           |
| 8             | 身近にあるデザインを意識して探すことができる             | 街に出て写真を撮ろう（看板・ポスターを探そう）         |
| 9             | 〃                                  | 街に出て写真を撮ろう 発表                   |
| 10            | 素材を楽しく組み合わせ、気持ちを伝えるデザインを考えることができる。 | クリスマスカードづくり                     |
| 11            | デザインの役割や意味を理解することができる              | 《グループワーク》問題解決のための広告作り           |
| 12            | 〃                                  | 《グループワーク》問題解決のための広告作り           |
| 13            | 〃                                  | 《グループワーク》問題解決のための広告作り、発表        |
| 14            | テスト                                | 効果的なキャッチコピーを考える                 |
| 15            | フィードバック                            | フィードバック                         |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                        |             |
|-----------|------------------------|-------------|
| 科目名 (コード) | Web経営Ⅱ                 | ( NGM12B )  |
| 講義名 (コード) | Web経営Ⅱ                 | ( NGM12BX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科            | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース          | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | 今野 篤                   | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 今野 篤                   | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | はい                     | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  | 企業コンサルタント(株)経営教育研究所 代表 | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 授業の目的<br>到達目標 | 企業経営の仕組みや取り巻く環境を理解する                |
| 全体の内容と概要      | ビジネス視野を広げるためにケーススタディやグループワークの時間を設ける |
| 授業時間外の学修      | 日々の企業ニュースに対してアンテナを張っておく             |
| 履修上の注意事項等     |                                     |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                             |                                |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 回             | 到達目標                        | 授業内容                           |
| 1             | 経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）の重要性を理解できる | 企業が成り立ち、成長するために必要な要素を4つに分けて考える |
| 2             | 経営資源（ヒト）を理解できる              | 人材にフォーカスを当て、企業活動を見つめてみる        |
| 3             | 同上                          | ワークショップ                        |
| 4             | 経営資源（モノ）を理解できる              | 設備や商品にフォーカスを当て、企業活動を見つめてみる     |
| 5             | 同上                          | ワークショップ                        |
| 6             | 経営資源（カネ）を理解できる              | お金の流れにフォーカスを当て、企業活動を見つめてみる     |
| 7             | 同上                          | 損益計算書を使ってみる                    |
| 8             | 同上                          | ワークショップ                        |
| 9             | 経営資源（情報）を理解できる              | 経営に必要な情報とは。情報を企業の経営に役立てる       |
| 10            | 同上                          | AIに触れ、生成AIで自分の自己紹介を作ってみる       |
| 11            | 同上                          | ワークショップ                        |
| 12            | 学んだことをアウトプットできる             | 業種・業界別にヒト・モノ・カネ・情報の違いをまとめる     |
| 13            | 学んだことをアウトプットできる             | ワークショップ                        |
| 14            | まとめと解説                      | テスト                            |
| 15            | まとめと解説                      | 1年間のフィードバック                    |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |       |
|-----------------------|-------|
| 教科書                   | サブノート |
| 参考文献・資料等              | なし    |
| 備考                    | なし    |

| 1. 本授業科目の基本情報 |               |      |             |
|---------------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード)     | 色彩            |      | ( NGM12D )  |
| 講義名 (コード)     | 色彩            |      | ( NGM12DX ) |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 1学年         |
| 対象コース         | WEBマーケティングコース | 単位数  | 1           |
| 授業担当者         | 竹下 芽衣子        | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員        | 竹下 芽衣子        | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員         | いいえ           | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄      |               | 授業形態 | 講義          |

| 2. 本授業科目の概要   |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | この授業の目的は、写真における色彩や光のバランスを理解し、より表現力豊かな作品を作ることです。到達目標としては、学生が基本的な色彩理論を理解し、自分の作品に応用できること。また、写真編集アプリを使い、意図した色調整やコントラスト調整ができるようになることを目指します。 |
| 全体の内容と概要      | 色彩の基本概念や心理的効果を理解し、それを写真の構図やライティング、編集に応用していきます。中盤では、実際の写真撮影課題を通して色彩バランスを調整する実践を行い、最後には自分の作品を編集し、意図した色表現を完成させます                          |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     |  |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |                   |                               |   |
|------------------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           |                   |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                   |                                 |
|---------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 回             | 到達目標                              | 授業内容                            |
| 1             | 色彩基本理解                            | 色彩の基本概念（色相、明度、彩度）<br>色彩の心理効果と印象 |
| 2             | デザインや写真としての色彩基礎理解                 | カラー写真の構図とバランス                   |
| 3             | 多様な編集アプリの理解と操作                    | 写真編集アプリ導入（基本機能練習）               |
| 4             | デザインに落とし込んだ際の見え方、印象の違いを学ぶ         | ロゴやテキストを写真に加える                  |
| 5             | 色彩を撮影に落とし込み撮影技術の基本を学ぶ             | 実践撮影：自然の色を活かす                   |
| 6             | 自身の作品の絞り込みと評価、ブラッシュアップ（自然光）       | 発表とブラッシュアップ                     |
| 7             | 色彩を撮影に落とし込み撮影技術の基本を学ぶ             | 実践撮影：人工光や編集で色を操る                |
| 8             | 自身の作品の絞り込みと評価、ブラッシュアップ（ライティング、加工） | 発表とブラッシュアップ                     |
| 9             | 基本的な写真編集を色彩の観点から学ぶ                | 実践課題：撮影した写真をアプリで編集              |
| 10            | アプリ編集の理解度や改善ができる                  | 編集結果の比較と分析                      |
| 11            | 自身の作品の絞り込みと評価、ブラッシュアップ            | ディスカッションとブラッシュアップ               |
| 12            | デザインとしての色彩理論的基礎表現ができる             | 自分の作品に色彩理論を応用                   |
| 13            | デザインとしての色彩理論的基礎表現ができる             | 発表とブラッシュアップ                     |
| 14            | 自身の作品の絞り込みと評価、ブラッシュアップ            | ディスカッションとブラッシュアップ               |
| 15            | 色彩をベースとした商業としての基本的な作品作りができる       | 後期テストに向けた作品集の課題決めと発表準備など        |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |      |             |
|-----------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | IT検定対策Ⅱ       |      | ( NGM12H )  |
| 講義名 (コード) | IT検定対策Ⅱ       |      | ( NGM12HX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 1学年         |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース | 単位数  | 2           |
| 授業担当者     | デザインルームエム小松   | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員    | デザインルームエム小松   | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員     | いいえ           | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | ネットワークセキュリティやデータベースおよびシステム開発の進め方について基礎知識を学び、実務に生かすことを目指す。 |
| 全体の内容と概要      | ネットワークセキュリティやデータベースおよびシステム開発の進め方に関する基礎的な知識について習得する。       |
| 授業時間外の学修      | なし  |
| 履修上の注意事項等     | なし  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                          |                               |   |
|--------|--------------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 期末テストを実施し、その点数を評価基準に用いる。 |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%        | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数                  | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                       | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                        | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                        | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                        | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                        | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                        | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能                     | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                         |   |
|---------------|-------------------------|---|
| 回             | 到達目標                    | 授業内容                                    |
| 1             | セキュリティの基本について理解する。      | 企業におけるセキュリティ活動、リスクマネジメント、ISMSについて説明する。  |
| 2             | セキュリティ対策(その1)について理解する。  | 人的リスク、物理的リスクに関するセキュリティ対策について説明する。       |
| 3             | セキュリティ対策(その2)について理解する。  | 技術的リスクに関するセキュリティ対策について説明する。             |
| 4             | 暗号化とデジタル署名について理解する。     | 共通鍵暗号、公開鍵暗号、デジタル署名について説明する。             |
| 5             | セキュリティに関する理解力をつける。      | セキュリティに関する過去問の演習を行う。                    |
| 6             | データベースの基本について理解する。      | 関係データベースの構成、演算、正規化およびE-R図について説明する。      |
| 7             | データバックアップの基本について理解する。   | 排他制御、バックアップ方式、トランザクションについて説明する。         |
| 8             | データベースに関する理解力をつける。      | データベースに関する過去問の演習を行う。                    |
| 9             | システム開発の進め方について理解する。     | SLCP(上流工程)について説明する。                     |
| 10            | システム開発の進め方について理解する。(続き) | SLCP(下流工程)、開発手法、アジャイルについて説明する。          |
| 11            | プロジェクトマネジメントについて理解する。   | PMBOK、WBS、PERTについて説明する。                 |
| 12            | サービスマネジメントについて理解する。     | サービスマネジメント、ファシリティマネジメント、システム監査について説明する。 |
| 13            | システム開発に関する理解力をつける。      | システム開発に関する過去問の演習を行う。                    |
| 14            | 期末テスト                   | 期末テストの実施                                |
| 15            | 期末テストのフィードバック           | 期末テストの問題について、解答を解説する。                   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |             |
|-----------------------|-------------|
| 教科書                   | ITパスポート合格教本 |
| 参考文献・資料等              |             |
| 備考                    |             |

**1. 本授業科目の基本情報**

|           |                 |             |
|-----------|-----------------|-------------|
| 科目名 (コード) | コンテンツコミュニケーションⅡ | ( NGM22F )  |
| 講義名 (コード) | コンテンツコミュニケーションⅡ | ( NGM22FX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科     | 配当学年<br>2学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース   | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | デザインルームエム水寄     | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | デザインルームエム水寄     | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | いいえ             | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  |                 | 授業形態<br>講義  |

**2. 本授業科目の概要**

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | アナリティクスを使用した分析と、それを踏まえた投稿作成を繰り返し行うことで、継続の重要性と分析を踏まえた実践が身につくことを目標とします |
| 全体の内容と概要      | SNSのアナリティクス機能の基本と読み取り方を学び、またデータから分析を行って改善案の作成、それを踏まえた取材と投稿を繰り返し実践します |
| 授業時間外の学修      | 取材・投稿作成が授業時間内で完了しなかった場合や推奨投稿時間の指定がある場合、授業時間外での作業を行っていただく場合があります      |
| 履修上の注意事項等     | なし   |

**3. 本授業科目の評価方法・基準**

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                               |  |
|---------------|-------------------------------|--|
| 回             | 到達目標                          | 授業内容   |
| 1             | アナリティクスデータ分析の基本がわかる           | 後期の流れを確認したうえで、基礎となるSNSのアナリティクス機能を学ぶ。また、実際にデータから何が読み取れるかを考える。       |
| 2             | データから仮説を立てる方法がわかる             | アナリティクスを閲覧できるアカウントを題材にして、伸びた投稿と伸びなかった投稿を比較する。また、要因の仮説を立て、投稿計画を立てる。 |
| 3             | 分析を元に投稿計画を立てる方法がわかる           | 立てた仮説から投稿の絵コンテを作成し、投稿イメージから逆算してどういったイメージが必要かを踏まえた取材計画を立てる。         |
| 4             | 分析を踏まえた投稿の取材方法がわかる            | 分析・仮説を確認し、投稿イメージの絵コンテを作成。そこから逆算して必要なカットを検討し、それを踏まえた取材を行う。          |
| 5             | 分析結果を踏まえた投稿作成の方法がわかる          | 取材内容から、仮説に沿った投稿を作成する。また、反応が多かった投稿の良いポイント、反応が少なかった投稿の改善点を組み込む。      |
| 6             | 比較分析を行ったうえでプロフィールの改善方法がわかる    | フォロワーを増やすために必要な分析・検証の方法と、フォローしたくなるプロフィール画面の構成・関連するデータの分析方法を学ぶ。     |
| 7             | 効果的な短尺縦長動画の投稿計画の立て方がわかる       | 前期に作成した短尺縦長動画のアナリティクスから、分析・仮説立てを行う。また、それを踏まえて新たな動画投稿イメージと取材計画を立てる。 |
| 8             | 仮説を立てたうえで、動画制作を前提とした取材方法がわかる  | 動画コンテンツ作成の際に注意するポイントと投稿イメージを確認した上で、スケジュールを立てて実際に取材を行う。             |
| 9             | 効果的な動画の構成とレイアウトとその作成方法がわかる    | 撮影した動画素材を使用して投稿を作成する。またその際、前期で作成した動画の改善点を確認し、それを組み込んだコンテンツ作成を行う。   |
| 10            | ユーザーとのコミュニケーション戦略がわかる         | ユーザーとのコミュニケーションの重要性と、コミュニケーションを誘発するための機能・工夫などを検討。それを組み込んだ投稿計画を立てる。 |
| 11            | 繰り返し分析・仮説検証をする重要性がわかる         | 短期で見たときの分析と、長期で見たときの分析の比較を行う。またそこから、目的に応じてどのような分析を行うのが最適かを検討する。    |
| 12            | 分析・仮説立てを行ったうえで効果的な取材をする方法がわかる | これまで学んだ内容の総まとめとして、過去の投稿の分析・仮説・検証・テクニックを踏まえた投稿・取材計画を立て、取材を行う。       |
| 13            | 1年の知識総まとめとなる投稿の作成方法がわかる       | これまで学んだ内容の総まとめとして、1年間学んできた内容を踏まえて目的を見据えたコンテンツの作成を行う。               |
| 14            | まとめ                           | 1年のまとめとして、改善の余地があるビジネスアカウントを見つけ、それを題材とした客観的な分析・仮説・改善提案資料を作成する。     |
| 15            | まとめ                           | 改善提案資料のプレゼンテーションを行い、相互にフィードバックを行う。これをもって評価とする。                     |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |      |             |
|-----------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | Web広告         |      | ( NGM22N )  |
| 講義名 (コード) | Web広告         |      | ( NGM22NX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 2学年         |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース | 単位数  | 2           |
| 授業担当者     | 竹下 芽衣子        | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員    | 竹下 芽衣子        | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員     | いいえ           | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | Web広告の基礎から実践までを理解し、戦略的に広告を運用できる力を身につける。到達目標は、主要なWeb広告プラットフォーム（例えばGoogle広告やSNS広告）の使い方を習得し、ターゲット設定、予算管理、効果測定ができること、広告戦略を立案・実行できること                         |
| 全体の内容と概要      | オンライン広告の種類や特性を理解し、具体的な広告キャンペーンの設計・運用手順を学びます。デジタル広告の基礎理論、主要プラットフォームの使い方、ターゲット設定、クリエイティブ制作（CANVA使用）、データ分析といったステップに分け、実際にグローバル市場に向けた広告戦略を立案・運用するまでの流れを習得します |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     |  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                  |                               |   |
|--------|------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                  |                               |   |
| 評価基準   | 知識（期末試験点）<br>60% | 自己管理能力（出席点）<br>30%            | 協調性・主体性・表現力（平常点）<br>10%                         |
| 評価方法   | 期末試験の点数          | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価               | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                | 90～100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                | 80～89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                | 70～79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                | 60～69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能             | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                             |                  |
|---------------|-----------------------------|------------------|
| 回             | 到達目標                        | 授業内容             |
| 1             | WEB広告基礎知識の習得                | WEB広告の基礎概念と種類    |
| 2             | ターゲティングの基礎習得                | ターゲティングの基礎       |
| 3             | グーグル広告基礎習得                  | Google広告の基本      |
| 4             | SNS広告基礎習得                   | SNS広告            |
| 5             | 基本的な広告作成ができる①               | 広告作成の実習          |
| 6             | 基本的な広告作成ができる②               | 発表とディスカッション      |
| 7             | 予算や分析の基礎習得                  | 広告予算の管理、データ分析と改善 |
| 8             | 実務的な広告キャンペーンの設計<br>習得       | 広告キャンペーンの実践設計    |
| 9             | LPの基礎理解の習得                  | ランディングページ最適化     |
| 10            | リスティング広告の基礎的な仕組み<br>習得      | リスティング広告の仕組み     |
| 11            | コンバージョンの基礎習得                | コンバージョンとコンバージョン率 |
| 12            | 基礎的な動画広告が作成できる              | 動画広告             |
| 13            | 具体的な立案から設計、製作までの<br>流れの基礎習得 | クリエイティブ制作実習      |
| 14            | 期末テスト①                      | 発表とディスカッション      |
| 15            | 期末テスト②                      | 発表とディスカッション      |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                   |             |
|-----------|-------------------|-------------|
| 科目名 (コード) | クリエイティブデザインⅡ      | ( NGM22R )  |
| 講義名 (コード) | クリエイティブデザインⅡ      | ( NGM22RX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科       | 配当学年<br>2学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース     | 単位数<br>1    |
| 授業担当者     | 横内 和加             | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 横内 和加             | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | はい                | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  | 個人事業 AERU PLUS 代表 | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 画像生成AIを活用した地域の魅力発信（ご当地キャラクター開発）のスキルを習得する。AIへの適切な指示と翻訳する言語化能力と、AIが生成したビジュアルを自身の感性でブラッシュアップする編集力を体得する。 |
| 全体の内容と概要      | 実在する地域をモデルとした、AIを活用したキャラクター開発とブランド展開の演習。   |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     | なし   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                  |                               |   |
|--------|------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                  |                               |   |
| 評価基準   | 知識（期末試験点）<br>60% | 自己管理能力（出席点）<br>30%            | 協調性・主体性・表現力（平常点）<br>10%                         |
| 評価方法   | 期末試験の点数          | 出席率×0.3<br>(小数点以下切り上げ)        | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価               | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                | 90～100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                | 80～89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                | 70～79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                | 60～69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能             | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                     |  |
|---------------|---------------------|--|
| 回             | 到達目標                | 授業内容                                       |
| 1             | AI×デザインの可能性を知る      | アカウント取得。実際に画像生成を体感する。                      |
| 2             | リサーチを行い、テーマを決定する    | ターゲットとする国や地域の歴史、文化、特産を深掘りし、キーワードを抽出。       |
| 3             | プロンプト設計(1)          | 地域の魅力をAIに伝えるための「言葉（プロンプト）」の組み立て方。          |
| 4             | プロトタイプ作成            | 画像生成AI（Canva内蔵AI等）を使い、キャラクターの素案を大量に生成。     |
| 5             | ビジュアルの選定            | 生成された画像から、コンセプトに最も近いものを選び、ブラッシュアップ。        |
| 6             | キャラクターデザインの完成       | Canva等のツールで、AIが生成した画像を清書・デジタル化し、完成させる。     |
| 7             | 中間チェックと評価           | キャラクターの背景（設定）と、AIとの共創プロセスを説明。              |
| 8             | 表情とポーズの展開           | AIに指示（プロンプト）を出し、喜怒哀楽の表情や特技ポーズを生成・編集。       |
| 9             | LINEスタンプへの応用        | Canva 等を使い、文字を合成。スタンプとしての視認性を調整            |
| 10            | LINEスタンプのパッケージ化     | 背景透過処理やサイズ調整。申請可能な状態まで仕上げる。                |
| 11            | キャラクターの活用シーンを想定した制作 | キャラクターを社会でどう活かすか。ポスター、SNS、Web等から展開媒体を選定する。 |
| 12            | 【制作】 展開媒体のデザイン(1)   | 自身で選んだ媒体（広報物、デジタルコンテンツ等）に合わせ、キャラを最適化・配置。   |
| 13            | 【制作】 展開媒体のデザイン(2)   | ターゲットに届くためのレイアウト調整と情報の整理。プロモーションの視点で仕上げる。  |
| 14            | 最終調整を行う             | キャラクターと制作物の最終調整を行う                         |
| 15            | 成果を発表し、共有する         | 構築したキャラクターと展開案の披露。フィードバック。                 |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |      |             |
|-----------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | 異文化理解Ⅱ        |      | ( NKT16L )  |
| 講義名 (コード) | 異文化理解Ⅱ A      |      | ( NKT16LA ) |
| 対象学科      | 国際コミュニケーション学科 | 配当学年 | 1学年         |
| 対象コース     | 英語キャリアコース     | 単位数  | 2           |
| 授業担当者     | 姚 海玲          | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員    | 姚 海玲          | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員     | いいえ           | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | さまざまな国の文化・考え方を学んでお互いに教えあったり認め合うことができるようにする。  |
| 全体の内容と概要      | 各国ごとの冠婚葬祭・ジェスチャー・社会問題などのテーマについて意見交換や発表などをする。そうすることでお互いの文化の違いを教えあい、認め合うことができるようにする。 |
| 授業時間外の学修      | 日頃からいろいろな国の学生たちと交流を持ちましょう。   |
| 履修上の注意事項等     | 発表が多いので事前準備をしっかりと行う事が重要です。   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理力 (出席点)<br>30%            | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

### 4. 本授業科目の授業計画

| 回  | 到達目標                               | 授業内容  |
|----|------------------------------------|---|
| 1  | 異文化を理解する目的を改めて知る                   | それぞれの学科の学習目標を提示し、異文化を理解することの必要性、異文化理解できていない場合どんなことがおきるかなども含めて学習する   |
| 2  | 異文化摩擦について理解できる                     | 異文化摩擦の例を示したり、学生間で異文化摩擦の体験などもシェアしながら異文化摩擦とはということについて学習していく。          |
| 3  | 自分をふりかえることで、コミュニケーションがとりやすくなる方法を知る | グループを作りジョハリの窓、学習スタイル、対立管理スタイル、異文化対応力について自分を数値的に理解する                 |
| 4  | 非言語コミュニケーションやパラ言語について理解し考察する       | アイコンタクトの意味と受け取り方、表情が与える誤解、ジェスチャー、パーソナルスペース、時間などについてクラス内で意見を交換する。    |
| 5  | 様々な国での催事を知ることによってその国の文化を理解することができる | 学生を国ごとのグループに分け、その国の催事について発表をするための準備をする                              |
| 6  | 様々な国での催事を知ることによってその国の文化を理解することができる | 催事についての発表   |
| 7  | 様々な国の生活についてわかるようになる                | 様々な国の人々の生活をビデオでみる。(家、街中の様子、仕事、学校の様子、休日の過ごし方など) 各自興味がある国について調べてまとめる。 |
| 8  | 様々な国の生活についてわかるようになる                | クラスメートに知ってもらいたい自分の国での生活の様子を調べてまとめる。                                 |
| 9  | 様々な国の生活についてわかるようになる                | 自国の生活について国別に分かれて発表する  |
| 10 | 世界の衣食住の歴史について知ることができる              | 日本の食文化の歴史の紹介と世界の様々な国の食についてビデオを見て、自分の国と比べてみる                         |
| 11 | 世界の衣食住の歴史について知ることができる              | 自国の衣食住の歴史について調べ、まとめる  |
| 12 | 世界の衣食住の歴史について知ることができる              | 衣食住発表準備   |
| 13 | まとめと解説                             | 期末テスト(衣食住の発表)   |
| 14 | まとめと解説                             | 期末テスト(衣食住の発表)   |
| 15 | まとめと解説                             | 今までの授業を通じてのまとめ  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |   |
|-----------------------|---|
| 教科書                   | なし  |
| 参考文献・資料等              | グローバルな時代を生きるための異文化理解入門・日本語教師のための異文化理解とコミュニケーション |
| 備考                    |   |

| 1. 本授業科目の基本情報 |                           |      |             |
|---------------|---------------------------|------|-------------|
| 科目名 (コード)     | ビジネスコンピューティングⅡ            |      | ( NKT16N )  |
| 講義名 (コード)     | ビジネスコンピューティングⅡA           |      | ( NKT16NA ) |
| 対象学科          | 国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科 | 配当学年 | 1学年         |
| 対象コース         | 英語キャリアコース/WEBマーケティングコース   | 単位数  | 2           |
| 授業担当者         | 竹内 玲子                     | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員        | 竹内 玲子                     | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員         | はい                        | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄      | 東京コンピューター (株)、東京精電 (株) 歴任 | 授業形態 | 講義          |

| 2. 本授業科目の概要   |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 表計算ソフトExcelの基本操作・機能を習得し、実務への活用方法を習得する                                |
| 全体の内容と概要      | テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける<br>前期でWord・PowerPoint、後期でExcelを学習します |
| 授業時間外の学修      | 数式の入力、データの処理の方法など授業内容を復習してください。<br>自分のスマートフォンを使っても学習ができます。           |
| 履修上の注意事項等     | 資格取得の意欲がある学生には、資格試験 (MOS・日商PC検定) の練習もおこないます                          |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |                   |                               |   |
|------------------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           |                   |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

#### 4. 本授業科目の授業計画

| 回  | 到達目標                              | 授業内容  |
|----|-----------------------------------|---|
| 1  | Excelの基本操作ができる                    | Excelの基礎 起動→画面構成確認<br>新規作成→入力方法・オートフィル練習→保存                 |
| 2  | 効率の良いデータの入力方法<br>SUM関数で計算ができる     | 表の作成 表の作成・書式設定・SUM関数  |
| 3  | オートSUMボタンの5つの関数を使用して基本的な集計ができる    | 販売実績表を作成し、オートSUMボタンの関数を学習する<br>(合計・平均・数値の個数・最大値・最小値)        |
| 4  | グラフ作成によりデータを<br>分かりやすく整理・可視化できる   | 前年比・割合の計算・縦棒グラフ作成   |
| 5  | 実務で活用できるわかりやすい<br>グラフや表を作成できる     | Excel グラフ作成<br>(グラフの種類と効果・縦棒、円グラフの作成・書式の変更)                 |
| 6  | IF関数と比較演算子を使って<br>条件判定ができる        | IF関数を使った条件判定の入力の仕方、比較演算子の意味と使い方                             |
| 7  | 複数条件の判定や<br>関数のネストを理解できる          | 3つ以上の条件判定、関数のネストの入力方法                                       |
| 8  | RANK.EQ関数の活用、<br>参照形式の使い分けができる    | 順位づけ(RANK.EQ関数) Fxボタンよりの関数の挿入・検索の仕方<br>相対参照と絶対参照のちがいと切り替え方法 |
| 9  | VLOOKUP関数を活用した<br>効率的な表検索入力ができる   | VLOOKUP関数の構造と使用方法・XLOOKUP関数紹介                               |
| 10 | 表検索入力をデータに応じて<br>適切に使い分けられることができる | VLOOKUP関数とHLOOKUP関数のちがい                                     |
| 11 | テーブル機能を使い、データを<br>管理、視覚的に把握できる    | 条件付き書式の設定 テーブルの作成と機能の利用方法<br>並べ替えの設定方法・フィルターの設定と抽出          |
| 12 | ピボットテーブルを用いて<br>データを集計・分析できる      | ピボットテーブルの作成・データの集計の変更方法                                     |
| 13 | 学習した内容を総合的に<br>復習し適切に活用できる        | 復習 テスト範囲 練習問題   |
| 14 | まとめと解説                            | 期末テスト   |
| 15 | まとめと解説                            | テストFB   |

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

|          |  |
|----------|--|
| 教科書      | 30時間でマスターOffice2021                                      |
| 参考文献・資料等 | 各問題集の練習問題、レベルに応じた資格試験の練習問題                               |
| 備考       | 担当教員はIT業界での実務経験を活かし、<br>Microsoft Office製品各種の操作を体系的に指導する |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                                      |             |
|-----------|--------------------------------------|-------------|
| 科目名 (コード) | キャリアデザインⅡ                            | ( NKT16P )  |
| 講義名 (コード) | キャリアデザインⅡA                           | ( NKT16PA ) |
| 対象学科      | 国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科            | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | 英語キャリアコース/観光ホスピタリティコース<br>WEBマーケティング | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | 石田 浩也                                | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 石田 浩也                                | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | いいえ                                  | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  |                                      | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成 |
| 全体の内容と概要      | 講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。                 |
| 授業時間外の学修      | インターンシップ、合同企業説明会&面接会参加 (WEB含む)  |
| 履修上の注意事項等     | 主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |  |                               |   |
|--------|--|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 出席率70%以上の者を期末試験の受験対象者とし、授業への参加態度や学習意欲も評価の対象とする |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                              | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数  | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価   | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S  | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A  | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B  | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C  | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D  | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能   | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                 |  |
|---------------|---------------------------------|--|
| 回             | 到達目標                            | 授業内容   |
| 1             | 後期に学ぶことを理解し、主体的に取り組むことができるようになる | 【オリエンテーション】後期に学ぶこと、2回目よりニュースの発表<br>【演習】後期学びたいことについてグループワーク、マンダラチャートの記入 |
| 2             | 学生時代に力を入れたことが書けるようになる           | 【講義】学生時代に力を入れたことについての書き方<br>【演習】これまでの学生生活で力を入れたことのエピソードを記入             |
| 3             | 自分のスキルについて、文章にすることができるようになる     | 【講義】好きなこと、できること、得意なことを考える。資格について考える。<br>【演習】自分のスキルについて記入               |
| 4             | 志望する業界・企業を選択し、調査ができるようになる       | 【講義】企業研究の進め方、業界・業種と職種<br>【演習】志望する業界・企業について記入                           |
| 5             | 競合他社について理解し、調査ができるようになる         | 【講義】競合他社とは<br>【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）                                  |
| 6             | 志望動機が記入できるようになる                 | 【講義】志望動機<br>【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）                                    |
| 7             | 履歴書の書き方を理解し、記入できるようになる          | 【講義】記入方法やポイントについて、エントリーシートとは<br>【演習】志望企業向け履歴書作成、提出                     |
| 8             | 履歴書を完成させることができるようになる            | 【講義】訂正ポイント説明<br>【演習】志望企業向け履歴書訂正、提出                                     |
| 9             | 面接の基本を理解することができるようになる           | 【講義】面接の種類と心構え、面接官の視点、身だしなみ、言葉遣い、<br>【演習】好印象を与える話し方の練習/個別面談             |
| 10            | 面接の流れを理解することができる                | 【講義】個人面接、集団面接の流れと対策、オンライン面接について<br>【演習】学生同士で練習/個別面談                    |
| 11            | 実際の面接で聞かれる質問に備えることができるようになる     | 【講義】実際にあった面接質問例の紹介<br>【演習】質問例の回答を記入/個別面談                               |
| 12            | 面接のテクニックを習得できるようになる①            | 【講義】面接の種類、面接での評価ポイント<br>【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック             |
| 13            | 面接のテクニックを習得できるようになる②            | 【講義】面接の種類、面接での評価ポイント<br>【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック             |
| 14            | 後期試験                            | 【試験】選択・記述式(100点)   |
| 15            | フィードバック、まとめ                     | 【後期試験フィードバック】試験のフィードバック、後期のまとめ   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |   |
|-----------------------|---|
| 教科書                   | 『就職内定基本テキスト』（日本能率協会マネジメントセンター）                        |
| 参考文献・資料等              | 適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う                          |
| 備考                    | 担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |             |
|-----------|---------------|-------------|
| 科目名 (コード) | マーケティング基礎Ⅱ    | ( NKT16R )  |
| 講義名 (コード) | マーケティング基礎ⅡE   | ( NKT16RE ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | 今野 篤          | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 今野 篤          | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | いいえ           | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 身近な業界や企業からマーケティングを考え、マーケティングメソッドを使えるようにする                          |
| 全体の内容と概要      | マーケティング的思考をしっかりと身に付けビジネス視野を広げる。<br>理解を深めるためにケーススタディやワークショップの時間を設ける |
| 授業時間外の学修      | 日々の企業ニュースに対してアンテナを張っておく  |
| 履修上の注意事項等     | なし   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                 |  |
|---------------|---------------------------------|--|
| 回             | 到達目標                            | 授業内容                                   |
| 1             | 後期の授業内容を理解できる                   | 後期の授業テーマと流れの解説                         |
| 2             | マスマーケティングとダイレクトマーケティングの違いを理解できる | マスマーケティングとダイレクトマーケティングとは？<br>またその違いとは？ |
| 3             | 同上                              | ケーススタディ                                |
| 4             | ターゲティングを理解できる                   | STPマーケティングの概念を学ぶ                       |
| 5             | ニーズとウォンツを理解できる                  | ニーズとウォッチと何か。業界別のニーズとウォッチ               |
| 6             | デジタルマーケティングを理解できる               | デジタルマーケティングの種類とそのこの効用                  |
| 7             | 同上                              | 広がるSNSマーケティングの活用方法                     |
| 8             | 同上                              | インフルエンサー・マーケティングの注意点                   |
| 9             | 同上                              | ロケーション・インテリジェンス、生体認証など、マーケティングの活方法     |
| 10            | 同上                              | マーケティングとプライバシーの保護                      |
| 11            | 商品開発を理解できる                      | マーケティングの4Pとは。商品開発に役立てる。                |
| 12            | 同上                              | 業種別のマーケティングの4Pを考察                      |
| 13            | 同上                              | マーケティングの4Pのケーススタディ                     |
| 14            | まとめと解説                          | テスト                                    |
| 15            | まとめと解説                          | 1年間のフィードバック                            |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |       |
|-----------------------|-------|
| 教科書                   | サブノート |
| 参考文献・資料等              | なし    |
| 備考                    | なし    |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                |             |
|-----------|----------------|-------------|
| 科目名 (コード) | Webマーケティング基礎Ⅱ  | ( NKT16T )  |
| 講義名 (コード) | Webマーケティング基礎ⅡG | ( NKT16TG ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科    | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース  | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | 小笠原 あやの        | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 小笠原 あやの        | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | いいえ            | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  |                | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | デザインの要素を整理し、わかりやすく相手に伝えるための基本的な手法を理解し、実践する。                           |
| 全体の内容と概要      | 普段目にする事の多いDTP、WEB広告などを制作しながら、「色」「フォント」「画像」などその要素の役割、効果的な表現を学び、実践していく。 |
| 授業時間外の学修      | なし  |
| 履修上の注意事項等     | なし  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |   |                               |   |
|--------|---|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | 出席率70%以上で期末試験受験者を対象とし、授業内ワークへの参加態度並びに意欲も評価対象とする |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60%                               | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数   | 出席率×0.3<br>(小数点以下切り上げ)        | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価  | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S   | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A   | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B   | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C   | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D   | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                    |                           |
|---------------|------------------------------------|---------------------------|
| 回             | 到達目標                               | 授業内容                      |
| 1             | 身近にあるデザインを意識して探すことができる             | 街に出て写真を撮ろう（ロゴマークを探そう）     |
| 2             | 〃                                  | 街に出て写真を撮ろう 発表             |
| 3             | デザインの役割や意味を理解することができる              | 《グループワーク》 問題解決のための広告作り    |
| 4             | 〃                                  | 《グループワーク》 問題解決のための広告作り    |
| 5             | 〃                                  | 《グループワーク》 問題解決のための広告作り、発表 |
| 6             | チーム内で意見を出し合いながら協力することができる          | 《グループワーク》 NBL祭のポスター作り     |
| 7             | 〃                                  | 《グループワーク》 NBL祭のポスター作り、発表  |
| 8             | 日本古来の風物詩に触れて、自由な塗り絵を楽しむことができる。     | 狐のお面に色をつけよう               |
| 9             | 素材を楽しく組み合わせ、気持ちを伝えるデザインを考えることができる。 | クリスマスカードづくり①              |
| 10            | 〃                                  | クリスマスカードづくり②              |
| 11            | デザインの「良い」「悪い」を意識し、改善策を考え、実践できる     | デザインのブラッシュアップ①            |
| 12            | 〃                                  | デザインのブラッシュアップ②            |
| 13            | 予測できないからこそ生まれるアートを体験できる            | 1本の線から生まれるアート体験           |
| 14            | テスト                                | ペーパーテスト（1年間のまとめ）          |
| 15            | フィードバック                            | テスト内容に関するフィードバック          |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                            |             |
|-----------|----------------------------|-------------|
| 科目名 (コード) | SNS                        | ( NKT17F )  |
| 講義名 (コード) | SNS                        | ( NKT17FX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科                | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース/観光ホスピタリティコース | 単位数<br>1    |
| 授業担当者     | 横内 和加                      | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 横内 和加                      | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | はい                         | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  | 個人事業 AERU PLUS 代表          | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | Instagramを中心としたSNSの特性を理解し、アカウントの立ち上げ・運用・分析までのプロセスを習得する。投稿制作を通じてコンテンツ発信能力を体得する。 |
| 全体の内容と概要      | Instagramのビジネス運用をモデルとした、実践的なSNSマーケティング演習。                                      |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     | なし   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理力 (出席点)<br>30%            | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                 |   |
|---------------|-----------------|---|
| 回             | 到達目標            | 授業内容                                    |
| 1             | SNSの役割を理解する     | そもそもなぜSNSをやるのか。情報発信とコミュニケーションの本質。       |
| 2             | 【リサーチ】 テーマ決定する  | 応援したい地域資源やジャンルをリサーチ。発信テーマを決定する。         |
| 3             | 【設計】 アイコン制作する   | 「フォローしたくなる」アイコンをAIを使って生成                |
| 4             | 【設計】 プロフィール制作する | 「フォローしたくなる」プロフィール文章の作成                  |
| 5             | 投稿の種類を理解する      | Instagramの各種投稿の役割を理解し、目的に応じた最適な発信方法を学ぶ  |
| 6             | 【導線】 ハイライト構築をする | ハイライトを整え、ユーザーを誘導。カテゴリー分けとハイライトの表紙制作。    |
| 7             | ストーリーズ投稿をする     | アンケートや質問機能の活用案を練り、フォロワーとの距離を縮める投稿を試作する。 |
| 8             | フィード投稿を制作する     | 1枚目で足を止めるデザインと、複数枚（カルーセル）で魅せる情報の構成を構築。  |
| 9             | フィード投稿を制作する     | キャプション（本文）のライティングを学び、視覚と文字の両面から訴求する。    |
| 10            | リール投稿をする        | 春学期のスキルを転用。短い尺で「最後まで見てもらう」ための動画を制作する    |
| 11            | リール投稿をする        | ターゲットに届く音源や編集手法を取り入れ、より広い層へ届ける工夫を凝らす。   |
| 12            | インサイト分析を学ぶ      | 保存数やリーチ数などの指標を理解し、ユーザー心理を読み解く分析手法を体得。   |
| 13            | DMやコメントへの対応を学ぶ  | DMやコメントへの誠実な対応、ファンを作る返信術、SNSリテラシーの習得。   |
| 14            | 運用報告の準備をする      | 構築したアカウントのコンセプトと制作物を整理し、成果発表の準備を行う。     |
| 15            | 成果を発表し共有する      | 構築したアカウントの振り返りとフィードバック                  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |  |             |
|-----------|--|-------------|
| 科目名 (コード) | 日本語コミュニケーションⅡ                                | ( NKT17J )  |
| 講義名 (コード) | 日本語コミュニケーションⅡA                               | ( NKT17JA ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科                                  | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース<br>Webマーケティングコース | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | 榊原 倫代  | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 榊原 倫代  | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | いいえ  | 履修区分<br>選択  |
| 実務者教員特記欄  |  | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。                      |
| 全体の内容と概要      | 前半：読解問題を解くためのポイント、新出語彙を学び、実戦問題を解く。<br>後半：聴解問題を解くためのスキルを学び、様々な形式の聴解問題を解き、解説を加える。 |
| 授業時間外の学修      | 読解問題の新出語彙の意味調べ・既習事項の復習  |
| 履修上の注意事項等     | 年間を通して必ず1度はJLPTを受験することを必須とする。<br>未受験者は本授業の単位取得を認めないこととする。                       |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                                   |  |
|---------------|-----------------------------------|--|
| 回             | 到達目標                              | 授業内容   |
| 1             | 文章の仕組みを理解するために<br>文章の違う点を理解する1    | 読解：【対比】ほかのものと比べる1<br>聴解：実際の試験を理解する1課題理解・ポイント理解 |
| 2             | 文章の仕組みを理解するために<br>文章の違う点を理解する2    | 読解：【対比】ほかのものと比べる2<br>聴解：実際の試験を理解する2 概要理解・即時応答  |
| 3             | 文章の仕組みを理解するために<br>言い換えについて学ぶ1     | 読解：【言い換え】<br>聴解：実際の試験を理解する3 統合理解               |
| 4             | 文章の仕組みを理解するために<br>言い換えについて学ぶ2     | 読解：【言い換え】 聴解：音声の特徴に慣れる                         |
| 5             | 文章の仕組みを理解するために<br>何を何にたとえているかつかむ1 | 読解：【比喩】 聴解：即時応答のスキルを学ぶ                         |
| 6             | J L P T形式の問題を解くことができる。            | JLPT模試 JLPT模試                                  |
| 7             | J L P T形式の問題を解くことができる。            | JLPT模試 F B JLPT模試 F B                          |
| 8             | 指示語を指している言葉を説明できる。                | 指示語 ドリル&ドリル第一回実践問題                             |
| 9             | 下線部に書かれていない主語や対象語を探すことができる。       | 「誰が」「何が」「何を」などを問う 第一回実践問題                      |
| 10            | それぞれの動作主を明確にし、文の内容を説明できる。         | 「誰が」「何が」「何を」などを問う 第二回課題理解                      |
| 11            | 文の前後を見て、言い換えている言葉を見つけることができる。     | 下線部の意味を問う 第二回課題理解                              |
| 12            | 下線部をみて、内容をつかむことができる。              | 下線部の意味を問う 第三回課題理解                              |
| 13            | 長文を短い時間で読み解くことができる。               | 期末試験直前対策 期末試験直前対策                              |
| 14            | まとめと解説                            | 期末試験   |
| 15            | まとめと解説                            | 期末試験FB   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 教科書                   | 完全マスター読解N2 完全マスター聴解N2 |
| 参考文献・資料等              |                       |
| 備考                    |                       |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |  |             |
|-----------|--|-------------|
| 科目名 (コード) | 日本語資格対策Ⅱ                                     | ( NKT17L )  |
| 講義名 (コード) | 日本語資格対策ⅡA                                    | ( NKT17LA ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科                                  | 配当学年<br>1学年 |
| 対象コース     | グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース<br>Webマーケティングコース | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | 田中 清夫  | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 田中 清夫  | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | いいえ  | 履修区分<br>選択  |
| 実務者教員特記欄  |  | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。 |
| 全体の内容と概要      | 日本語能力試験N2の文法と語彙を学んでいく                                      |
| 授業時間外の学修      | 新出語彙の意味調べ・既習事項の復習  |
| 履修上の注意事項等     | 年間を通して必ず1度はJLPTを受験することを必須とする。<br>未受験者は本授業の単位取得を認めないこととする。  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                              |   |
|---------------|------------------------------|---|
| 回             | 到達目標                         | 授業内容  |
| 1             | 自分の困った状況が説明できる<br>1          | 文法（～きり、どころじゃない、ものの、ことに）<br>語彙（文脈規定第1回）              |
| 2             | 自分の困った状況が説明できる<br>2          | 文法（～にしては、ことか）、チェック<br>語彙（文脈規定第12、13回）               |
| 3             | 友達の話に共感して励ますことができる1          | 文法（～さえ～ば、ようがない、あげく）<br>語彙（文脈規定第14、15回）              |
| 4             | 友達の話に共感して励ますことができる2          | 文法（～もんじゃない、だけ）<br>チェック、まとめ問題                        |
| 5             | 友達の話に共感して励ますことができる3          | 文法（～ばかりに、ことはない、にくらべて）<br>語彙（言い換え類義第1、2回）            |
| 6             | 友達の話に共感して励ますことができる4          | 文法（～ものか、というものよ）、チェック<br>語彙（言い換え類義第3～6回）             |
| 7             | 自分の状況や決意したことを友達に話すことができる1    | 文法（～ばこそ、ないことはない、だけ、もん）<br>語彙（言い換え類義第7、8回）           |
| 8             | 自分の状況や決意したことを友達に話すことができる2    | 文法（～わけにはいかない、のみだ、つもり）チェック、まとめ問題<br>語彙（言い換え類義第9、10回） |
| 9             | レポートなどの、これまでの経緯や状況の説明が理解できる1 | 文法（～から見ると、一方で、ことから、のみならず）<br>語彙（用法第1、2回）            |
| 10            | レポートなどの、これまでの経緯や状況の説明が理解できる2 | 文法（～といった、にしたがって）、チェック<br>語彙（用法第3、4回）                |
| 11            | レポートや論説文の説明が理解できる1           | 文法（～得る、に反して、に関して、反面）<br>語彙（用法第5、6回）                 |
| 12            | レポートや論説文の説明が理解できる2           | 文法（～上、つつある、に限らず）、チェック、まとめ問題<br>語彙（用法第7、8回）          |
| 13            | ビジネス場面で社外の人との簡単な受け答えができる     | 文法（お見えになりました、ご～願えます、ご～上げ、ぼ～思います）<br>語彙（用法第9、10回）    |
| 14            | まとめと解説                       | 期末試験  |
| 15            | まとめと解説                       | 期末試験FB  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 教科書                   | TRY!日本語能力試験N2 ドリル&ドリル文字語彙 |
| 参考文献・資料等              |                           |
| 備考                    |                           |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |                 |             |
|-----------|-----------------|-------------|
| 科目名 (コード) | TOEIC対策Ⅳ        | ( NKT25D )  |
| 講義名 (コード) | TOEIC対策ⅡA       | ( NKT16JA ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科     | 配当学年<br>1年  |
| 対象コース     | Webマーケティングコース / | 単位数<br>2    |
| 授業担当者     | 高野 恵            | 時間数<br>30   |
| 成績評価教員    | 高野 恵            | 講義期間<br>秋学期 |
| 実務者教員     | いいえ             | 履修区分<br>必修  |
| 実務者教員特記欄  |                 | 授業形態<br>講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | TOEIC500点を旨す。                           |
| 全体の内容と概要      | TOEICテストの概要を知り、基礎を復習しながら確実に問題を解けるようにする。 |
| 授業時間外の学修      | 新しい語彙・フレーズの復習をし、会話文などの音読練習をする。          |
| 履修上の注意事項等     | なし                                      |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                          |                                  |
|---------------|--------------------------|----------------------------------|
| 回             | 到達目標                     | 授業内容                             |
| 1             | リーディングパートの模試問題を解く        | リーディングパートの模試問題を解く。               |
| 2             | Part5の解答と解説が理解できるようになる   | 模試問題Part5の復習。                    |
| 3             | Part6の解答と解説が理解できるようになる   | 模試問題Part6の復習。                    |
| 4             | Part7の解答と解説が理解できるようになる   | 模試問題Part7の復習。                    |
| 5             | Part7の解答と解説が理解できるようになる   | 模試問題Part7の復習。                    |
| 6             | リスニングパートの模試問題を解く         | 模試問題Part1の復習。                    |
| 7             | Part1の解答と解説が理解できるようになる   | 模試問題Part2の復習。                    |
| 8             | Part2の解答と解説が理解できるようになる   | 過去問題を通して自分の達成度を判断し、これからの勉強法を考える。 |
| 9             | Part3の解答と解説が理解できるようになる   | 模試問題Part3の復習。                    |
| 10            | Part3+4の解答と解説が理解できるようになる | 模試問題Part3+4の復習。                  |
| 11            | Part4の解答と解説が理解できるようになる   | 模試問題Part4の復習。                    |
| 12            | 総復習①                     | 間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。      |
| 13            | 総復習②                     | 間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。     |
| 14            | 期末テスト                    | 期末テスト                            |
| 15            | まとめと解説                   | テスト F B                          |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   | A COMMUNICATIVE APPROACH TO THE TOEIC® L&R TEST Book 2: Intermediate |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |